

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第7週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和6年 第7週分 2月12日～2月18日（2月21日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：460人、定点医療機関当たり9.58人、新規患者推計値※：2,172人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

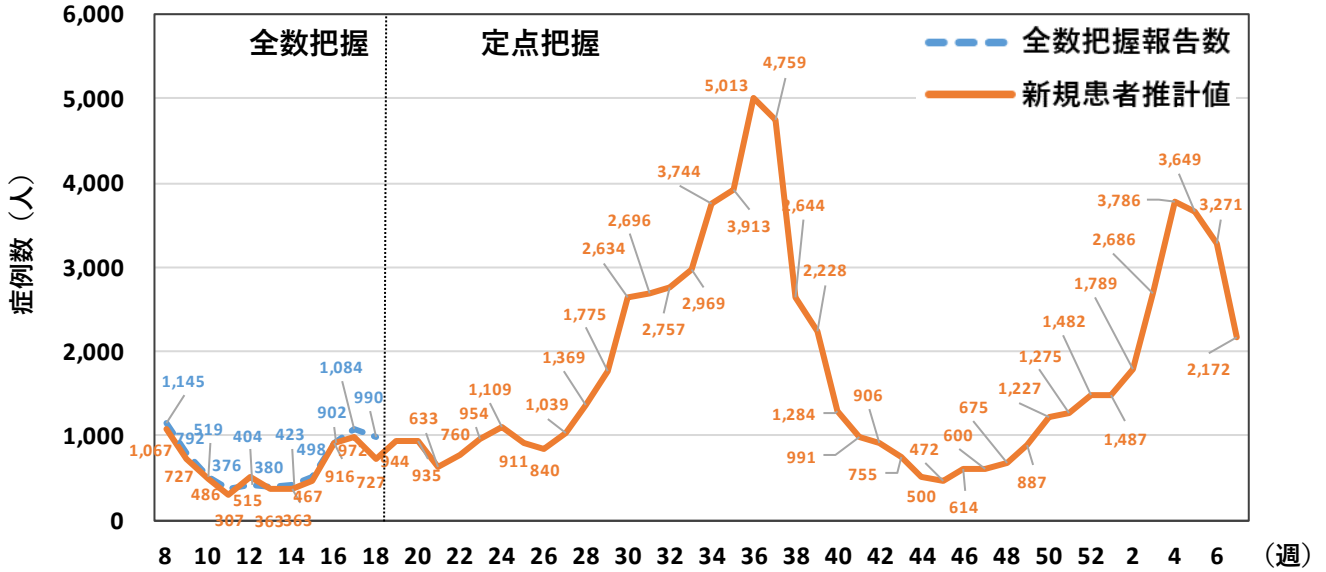


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

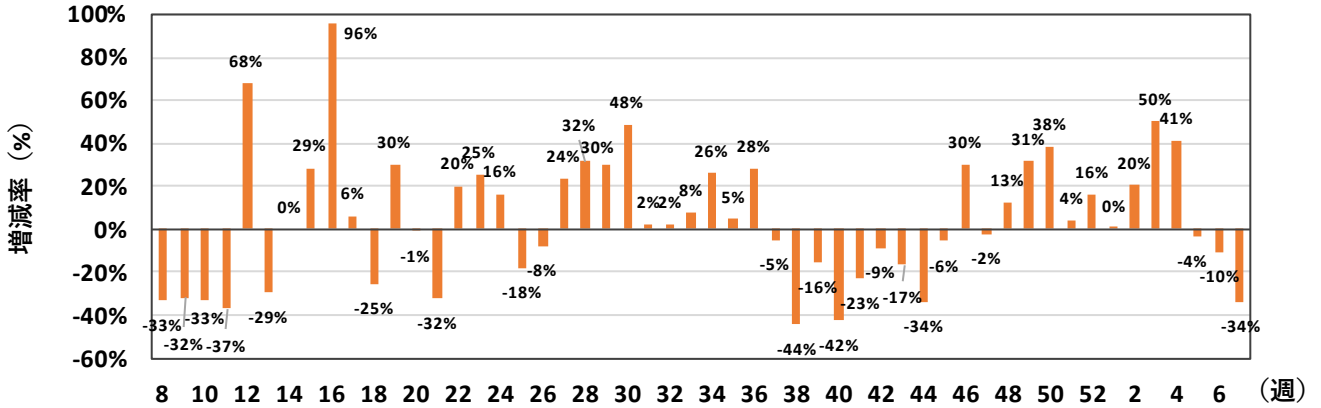


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第7週）

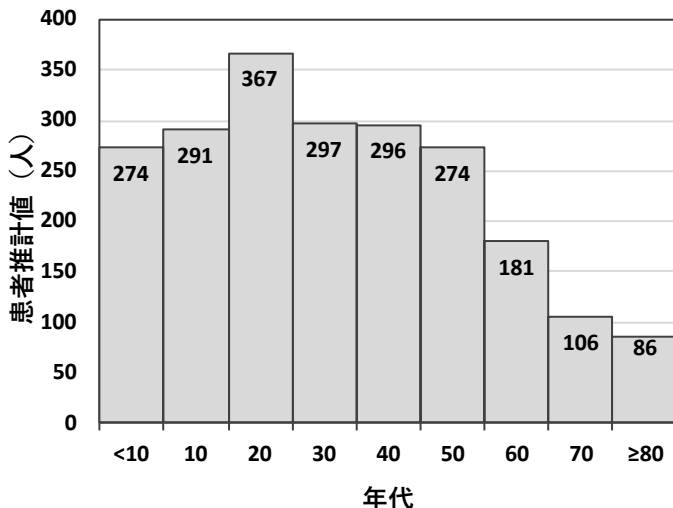


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第7週）

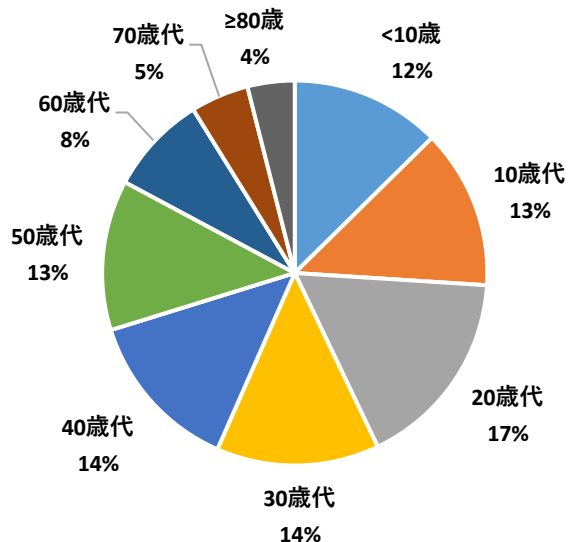


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移 (富山県)

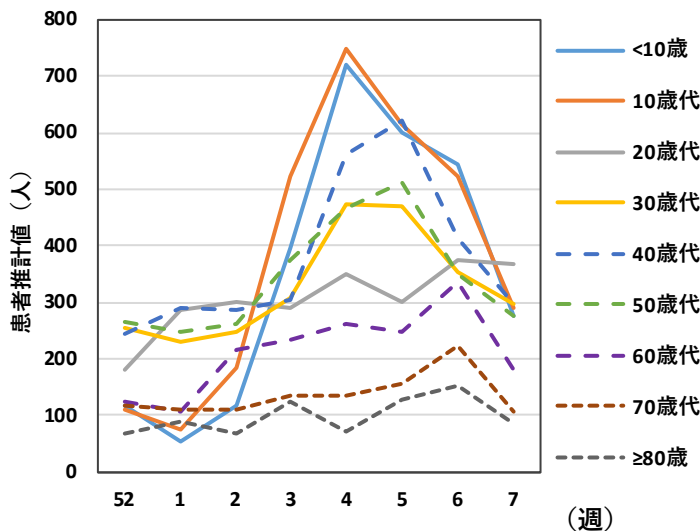
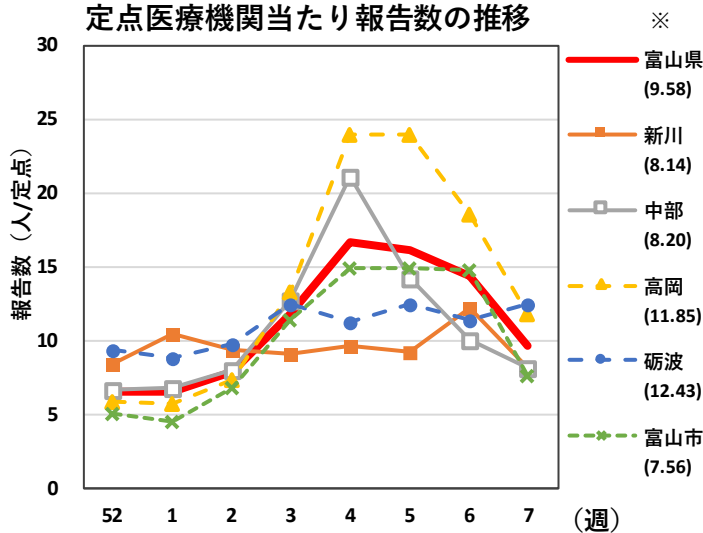


図6. 厚生センター・保健所管内別  
定点医療機関当たり報告数の推移



※ ( ) 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス

年代分布 (第7週、37例)

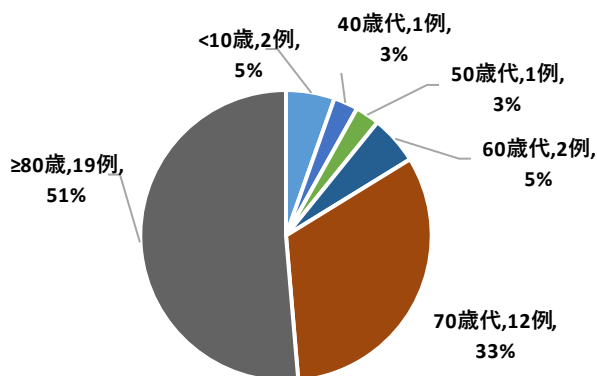
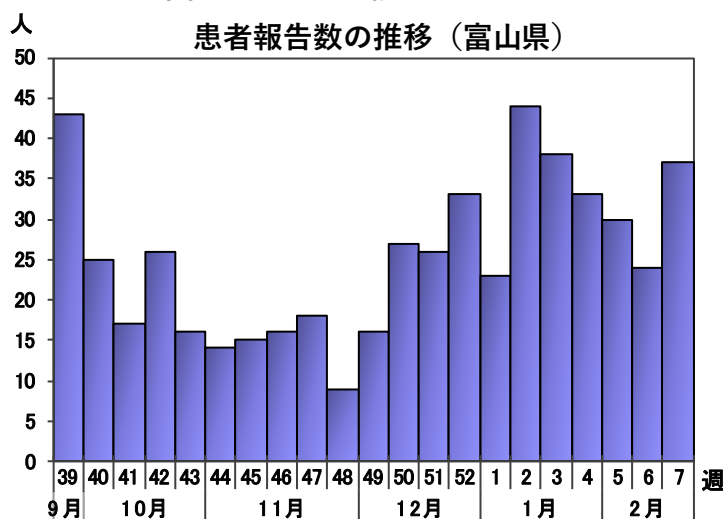


図8.COVID-19入院サーベイランス

患者報告数の推移 (富山県)



第7週 (2/12~2/18) 時点での所見と評価

- 第7週の定点医療機関当たり報告数は9.58人、新規患者推計値は2,172人であった。前週推計値 (第6週、3,271人) から34%減少した (図1、2)。
- 第7週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。20歳代が最も多く17%を占めた。<10歳、10歳代、30~50歳代の各年代で12~14%であった。60歳以上の割合は17%で先週 (22%) から減少した。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。20歳代を除く全ての年代で先週から減少した。先週まで増加傾向であった60歳以上も減少に転じた。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で9.58人/定点であり、先週 (14.44人/定点) から減少した。砺波管内では先週から横ばいであった。一方、その他の管内では先週から減少した。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第7週に37例の入院報告があり、先週 (24例) から増加した。年代分布では、70歳代が12例、80歳以上が19例で、70歳以上が84%を占めた (図7、8)。
- 2023年45週以降、継続的に増加していたCOVID-19の患者報告数は、2024年第4週をピークに減少傾向が継続している。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。